



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第17回例会(11月11日)  
平成28年11月18日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL(651)1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 駒木 進  
幹事 海野 尚  
会報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョン F ジャーム



ゲスト卓話

『仏教は宇宙の法則』

祇陀寺 住職  
吉田 大信様

スピーカー紹介

昭和24年横浜市生まれ。東京で情報処理と印刷設計の会社、神奈川県では文化を媒体とした市民・大学・企業・行政のネットワーク事業の会社の経営に携わる。バブル経済崩壊後、カウンセリングオフィスを開設。平成7年、祇陀寺とのお縁から出家し、4年間の修行後平成15年12月に祇陀寺の住職に就任。壇務の他、更生保護法人理事長、教諭師、NHK文化センター講師等を務めながら講演会、セミナー、コンサートを開催しエキキ楽しく生きるヒントを伝える活動を行っている。

(金沢 滋会員)

皆さん、こんにちは。只今ご紹介いただきました、祇陀寺の住職を務めております吉田大信と申します。

先ほどの歌で「四つのテスト」。あれは素晴らしいですね。仏教では「損か得か、人間の物差し。嘘か誠か、仏様の物差し」というのですが、そのあたりがまさにピッタリとくるところだと思いますね。「仏教の教えそのものが歌になっているなあ」と、先ほど感じました。

今日は、神道の方もいらっしゃるということで、信仰に偏らず、お釈迦様がお悟りになった真理が少しご披露できればと思っています。

お釈迦様が悟った、三つのこと

お釈迦様は王様の息子として生まれたんですね。何不自由なくお育ちになったんですが、自分の住んでいる城の外を見たら、悩んでいる人、苦しんでいる人、病気の人など、たくさんの方がいて、それを何とか救いたいと思いついたのがきっかけで、修業の世界に入ります。

6年間の苦行をして、ガリガリに痩せ衰える。そのときに、ひとつの気づきがありました。「こういう修業方法をしていても、何のためにもならない」。自分の求めていることは何も求められないと気がついて、山から下りてくる訳です。そうしたら「スジャータ」という少女に出会うんですね。皆さん、「スジャータ」ってどこかで聞いたことがあるでしょう？「コーヒーにスジャータ」は、ここから採っていると思うんです。このスジャータが、ヤギのお乳で作ったおかゆを、お釈迦様に食べさせたんですね。何も食べずに、そういう修業をしていたのですから、いきなり普通の物を食べると死んでしまうそうなんです。そこで、体に優しい乳粥を用意して、お釈迦様に食べてもらった。

そのとき、お釈迦様はたぶん、第二の気づきとして「体をちゃんとしておかないとダメなんだなあ」

と思ったんでしょうね。それで、体を整えて菩提樹の下で瞑想の世界に入られたんです。1週間後、お悟りが来たんですね。その悟りとは何だったのか。瞑想しているときも、お釈迦様は宇宙との一体感を感じられたんですね。そのときに、宇宙の仕組みがずっと体の中に瞬時に入って来たんだと思います。

その悟りというのは、それ以前の宗教が言っていることとは違うものですから、お釈迦様はずいぶん悩まれたようなんですね。「でも、自分はそのために、ずっと修業してきたのだから、やはり他人に伝えていかなければならない」ということで、山から下りてきた。そのとき、修業仲間と喧嘩別れのようになるんですね。「あいつは、途中で挫折した」と言われるのですが、とんでもない悟りを得られた訳です。別れた仲間たちに、思い切ってその話をしたところ、もの凄く感動された。その5人が最初の弟子になった。そこから仏教がスタートすることになったんです。お釈迦様そのものが、宇宙との一体感を得たことによって、宇宙の秩序・法則というものを瞬時に体感されたようなんです。そのお話をすると、明日まで掛かってしまうので、ダイジェストでお話しします。

結局、そこでお悟りを得たことは何かということ、皆さんよくご存知の言葉なんです。「諸行無常」ということ。もうひとつが「諸法無我」ということ。三つ目が「涅槃寂靜」。この三つが「三法印」と言いまして、仏教の旗印。仏教の特徴なんです。諸行無常ということの意味は、「すべて変わらないものはない」。すべてのものは移り変わっていくという真理を言ったものです。諸法無我は「すべてのものは実体がない」。無我という言葉は間違っていて訳されているのですが、無我というのは「実体」という意味です。すべてのものには実体がない。それぞれの縁起によって、その場その場に現実が現れているだけなんだということ。涅槃寂靜というのは、我々はいつも煩惱で苦しんでいるのですが、その諸行無

常や諸法無我というものが本当にわかると、煩惱での苦しみや不安から解放されて、実に心が穏やかになるという。お釈迦様は、この三つを悟られた訳です。

### 関わり合って存在する、すべてに感謝

諸法無我ということとは、いろいろと、これからのことに展開していくのですが、すべてのものには実体がないと言われても、さっぱり訳がわからないものです。それを噛み砕くと、「この世のすべてのものは、全部が関わり合って存在している」という事実に気が付くんですね。これを、お釈迦様は「この世のすべてのものは仮和合（けわごう）だ」とおっしゃっています。仮に和合して形を成しているということです。何が関わり合っているのかというと「元素だ」とおっしゃったんです。2500年前に、元素と元素がくっついて物の形を成すと言っている。お釈迦様は実は、化学者でもあったんですね。物事を非常に化学的にご覧になられた。「この世の物は、すべて仮和合だ」と。ただ、宗教でいう元素というものは、仏教もキリスト教も同じですが、大きくいうと「地・風・火・水」なんです。これに「空」という字が加わると、宇宙を表す五つのものになる訳です。四大元素というと、地・風・火・水となるんですね。「こういう物が組み合わさって、私たちの体も、仮にそうになっているよ」ということなんです。お亡くなりになると、私たちはその体を火葬します。そうすると、二酸化炭素になり、お骨になる。そのお骨をお墓に埋めると、年月を掛けて土に帰るといように理解します。これは結局、体がバラバラになって元素に帰っていくんだということです。我々は、お葬式のときに戒名の上に三文字「新帰元（しんきげん）」と書くんですね。「新たに元素に帰る」という意味なんですね。そういうことが戒名のところに書かれているという、そういう現象をお釈迦様はご覧になっていたんですね。

この元素というものが今日の科学では、宗教でいう四大元素よりも、もっと細かいレベルでわかっている。私は高校生るとき、全部の元素を歌で覚えたんです。古い方は「鉄道唱歌」ってご存知でしょう？「汽笛一声、新橋の～」というものです。化学の先生は古い方だったので、鉄道唱歌に元素記号を入れて、歌を覚えさせたんですね。毎回、授業の始めに「水素の次はヘリウムで～」と、覚えたんですね。ですから、私は水素だけ覚えているんですね（会場／笑い）。この元素というものは、先ほどの諸法無我。全部が関わり合って存在しているということ。この宇宙には、何一つとして単独で存在する物はないんだということです。水素という元素があるんですが、これも世の中では水素単独では存在しにくい。ひとつの例として、水素はもうひとつ、水素を呼んでくるんです。水素が二つになる。「同じ仲間ばかりじゃ、面白くない」というので、酸素を一つ呼んでくるんですよ。記号がわかりますか？ $H_2O$ で「水」なんですね。水になると、比較的安定した形で存在し

やすくなる。そういうふうに、物というものは全部が関わり合って存在になるということですね。

そういうかたちで私たちの体を見てみると、元素が集まって私たちの体の細胞を作り、その細胞が集まって骨や神経など、臓器を作っている。それぞれの臓器が役割分担をして、私たちのこういう体になる。私たちの体だけを見ても、関わり合いの集合体になる訳です。私たちの体には、いくつの細胞があるんですか？60兆あるんですね。1キロの細胞を数えたら1兆あったんですね。それで平均体重60キロということで、60兆と言っているのだそうです。当然、数が多い人がいますよね（会場／笑い）。その60兆の細胞ひとつ一つに3億2千万の遺伝子情報を書き込まれているんだそうです。すごい仕組みですよ。そんな複雑な関わり合いで、私たちはここにいる。私たちはまた、家族と関わり合い、その地域と関わり合い、その人の属している社会と関わり合って生きています。まさに、人間というものは、そういう関わり合いの集合体である訳です。

さらに、1人の私が生まれるためには、2人の親がいたんですね。勝手に生まれてきた人はいない。親が生まれるためには、4人のおじいちゃんやおばあちゃんがいる訳ですよ。その4人が生まれるためには、8人が必要なんです。8人が生まれるためには16人が必要になる。そうやって計算してみると、自分より10代前で1,024人いるんですよ。世代計算というのは1世代30年として計算しますので、約300年前の直系のご先祖様は1,024人いらっしゃいます。親から全部数えると、2千人を超える訳です。さらに10代さかのぼって20代前になると、104万人になる。そこまでの人を足すと200万人を超えるんですよ。そんな膨大な直系のご先祖様を私たちは持っている訳です。その中で、もし誰か1人がいなくなったら、皆さんは今、ここにいらっしゃらないんです。その、たった1人が生まれる確率を計算した人がいるんですね。どのぐらいの確率だと思います？村上和雄先生という筑波大学の遺伝子工学の世界的権威がいらっしゃるのですが、その方の研究仲間が計算したんです。1人の命が誕生する確率。皆さん、宝くじを買ったことがありますか？1億円、当たった人？知り合いで1億円当たった人？これだけの人がいるのに、そういう人はいない。でも、誰かは当たっていますよね。同じ人が1億円の宝くじが何回か当たったという話は？ないですよ。そういうことは、よっぽど有り得ないことですよ。ところが、村上和雄先生の研究仲間が計算した確率によると、生命が生まれる確率は、1億円当たる確率の宝くじが続けて100万回当たる確率だそうです。有り得ないことなんですね。それを、私たちは「奇跡の命」とか「かけがえのない命」とか、さっきからお話しているように、全部が関わり合って命が生まれている。これは日本人がとても良い言葉で「お蔭さま」と言っていますね。だから、そういうところをとらえると、仏教でいう諸法無我ということをとらえただけでも、すべて感謝という

こと。生まれる確率からいったら有り得ないこと。これを「ありがたし」と言うんですね。あることが難しい、という意味です。これが「ありがたう」の語源でもあるんですよ。だから、すべて感謝なんですよ。

私たちは普段、こういうことに思いがいかない訳ですが、本当は感謝しなければならないことを、当たり前前に受け止めている。でも、そっちに意識を向けると、とんでもないことなんだと気がつく訳です。だから、私たちが生きる中で、常に感謝の気持ちをもって生きてると、お釈迦様がお悟りになった宇宙の法則にぴったりと当てはまる訳です。私たちは、宇宙の中の、自然界の中の一生命体として生きている訳ですから、宇宙の法則に則って生かされている訳です。その感謝の気持ち、「ありがたいなあ」という思いで、感謝の気持ちで生きてると、そういう法則に則っているから、素晴らしく良く生きることができるといふことなんです。私たちは、何か良いことがあると「ありがたう」と言いますが、そうではなくて、ありがたうという思いを体から発していると、向こうから寄ってくるんですよ。それが「引き寄せの法則」なんです。「ありがたう」「ありがたう」という生き方をすると、理に叶っているということになると思います。これが仏教の本質。これが感謝の宗教というのではないかと思うんですよ。

### 意識したことは、必ず現実になる

こういう生き方の中で、宇宙の法則で二つのいいお話を皆さんにプレゼントしたんですが、さっき紹介の中で、私は気功ということをしてきた時期があったんですね。これも、宇宙のエネルギーをどう取り入れるかということなんです。

気功の「気」の性質というものは、使われると喜ばれるんですよ。だから、大いに気を遣ったほうが良いんです。お金はかかりませんので、ぜひ気を遣っていただきたい。そうすると、気がドンドン集まるんです。そういうところに人が集まる。これを、人の気が集まる「人気」と言います。気を遣うことも法則なんです。私たちは、良いことを何でも取り入れようとするのですが、入れる前に、出さないと入らないんです。呼吸もそうなんです。吐くから入るんですね。お金も、そうなんです。出さなければなりません。お金は、貯めるためにあるのではなくて、使うためにあるんです。お金の特徴は、使われると喜ぶんです。だから、使う人のところにお金が入ってくるんです。これも真実なんですよ。心配して、お金を使わないでしょ？ お金が入ってきたら使うでしょ？ 逆をやってください。どうすれば入るかということ、いちばん良いのはお寺に渡すこと（会場／大爆笑）。やってみないと、わかりませんよ（会場／笑い）。頭の中で考えているだけだと、何も現実になりません。使うと入ってくるということなんです。

それから、もうひとつ。この宇宙は、意識したこ

とが現実になるという仕組みになっています。皆さんが意思決定すれば、物事は必ずそうなるという仕組みになっています。そこで、皆さんが間違ってしまうのは、意識の仕方を間違ってしまう。それから「自分はどうしたい」という思い方を間違ってしまう。それから難しいのは、私たちの意識というものは、大きな三角形で、顕在意識というものは、上のちょっとしたほんの一部なんです。あとは大きな無意識の世界なんです。この世界がわからないから、やっかいなんです。

さっきの宝くじ1億円がなぜ、当たらないと思います？ まず、買わないと当たりません。買って1億円当たったらと、考えるんですよ。「いつも、あの人のお世話になりっぱなしで、1億円もあれば、充分に奮発できる」。いつもないお金を計算して「これを出してしまうと、財布が空っぽになってしまう」と、出費を全部、ストップしてしまうのですが、1億円もあると、「普段はお世話になってばかりだから、このときばかりは」とか「女房には苦勞の掛けっぱなしだから」と、旅行に連れて行ったりしても、使い切れない金額です。そういう計算をするんですが、宝くじの抽選当日は、見事に外れているんですよ。なぜでしょう？ これが潜在意識なんですよ。「宝くじは当たらない」と思っている。さっきも言ったように、1億円の宝くじが当たる人はいないんですよ。そういうことが刷り込まれているんですよ。それじゃ、どうしたら当たるんでしょうかね？ やってみてください。宝くじ売場に行くと「当たりくじ、ください」と言ってみてください（会場／笑い）。売場の人は「そんなこと、わかりません」とか「それがわかれば自分で買いますよ」とか、保証できないわけですよ。でも、この話をしたら、よく当たりくじが出る売場の人がそれらしいことを言うらしいですよ。「当たりくじ、ください」と言われると、冗談でもいいから「これがそうですよ」と応えてくれて、「当たりますように」と言って渡してくれる。そういう人がいる売場は、よく当たりが出る売場だそうなんです。そういう人に出会って、「これが当たりくじです」と言ってくじを渡されたら、半分以上の確率で当たります。あとは、くじを受け取った人の潜在意識が信じ切ることができるか、どうかにかかっています。やってみてください。当たったら、3分の1でいいですから、私にください（会場／爆笑）。私は、頼まれて3回ぐらい当たっています。1億円ではなくて、100万円ぐらいですけど。実績がありますので、投資してもいいですよ。保証はしませんけどね。意識がそうさせるということです。

「お金持ちになりますように」と祈ってしまうのはダメなんですよ。お金持ちでない人がそう祈るから、祈る人はお金持ちではないんです。だから、さっきの「類は友を呼ぶ」という原則から外れるんです。お金は、お金がある人に集まるんです。それから、ゴルフをする方は「最後のバターは外してはいけない」と思うけど、そう思ったときは、もう外れているから、そう思うんです。入る人は、そのイ

メージが明確に描けているから、必ず入る訳です。物事は、上手に意識するといいいですね。お金持ちになるためには、ここに1万円あった場合、それが全財産だとすれば、「1万円しかない」と思います。これは、貧しい発想なんです。でも、これが1億円に相当するぐらいの価値があると思うと、感謝の気持ちがあると思えば「今夜は、これでごはんを食べることができる」「これでコーヒーだって飲める」と、本当にありがたい気持ちがあると、お金がお金を呼ぶ。だけど、私たちは「1万円しかない」という発想になってしまうんですね。そうすると、結果は違ってくる。ですから「思い方」です。

それから、もうひとつ、申し上げておくのは「和尙さん、あのときはあんな話をしたけど、そんなことないよな」と思うから、思ったことが現実になります。ですから、否定しちゃダメなんです。スポーツの世界で、もう30年も前のこととなりますが、

早稲田大学のラグビー部のマネージャーとキャプテンが相談に来た。「明治大学にどうしても勝ちたい」という。それで「アドバイスを受けて、その通りに実行する人って、少ないんだよ」と言ったら、「何でもしますから、教えてください」という。それで「試合の前に祝勝会をやりなさい」と言いました。「勝ったと言って、お祝いをしなさい」と言った。さっきのゴルフといっしょで、負けちゃいけないと思うと、もう負けているんです。早稲田のラグビー部は、前日に祝勝会をやって20数年ぶりに勝てたんです。

私たちの意識の仕方が現実を作るということを、頭の片隅に入れておいて、どこかでお使いいただけるとよろしいかと思えます。「私には決してできない」と決めるから、できなくなっちゃう。意識したことは必ず現実になるということ。今の皆さんの現実は、全部自分で作ってきたことの結果なんですね。それを参考にしていただけたらと思います。

今日は、ありがとうございました。

## 例 会 報 告

第 17 回例会  
平成 28 年 11 月 11 日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司 会 駒木 進会長
- ・ソング 我らの生業
- ・四つのテスト斉唱
- ・ビジター 南部利文さん(会友)
- ・ゲスト 吉田大信様(祇陀寺 住職)
- ・皆出席バッチ 福田荘介君(31年)。
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・入会祝 福田荘介・藤村文昭・佐々木憲明君。
- ・誕生祝 藤村文昭・勝部民男・工藤幸一・栗田 均・千葉隆史君。
- ・結婚祝 佐々木憲明・工藤幸一君。
- ・幹事報告 海野 尚幹事

### 【ニコニコBOX】

- ◆岩野法光君・吉江信博君…2015～2016年度の年次報告書が出来上がりましたが、一部訂正があります。後ほど差し替えますので、ご了承ください。

- ◆荒川鉄平君…11月11日は日本記念日協会による認定の記念日では、10月10日に次いで多い日となっているそうです。その中でも魚偏に「十一一」と書いて全国2番目の出荷額の岩手県になじみのある「鮭の日」とも呼ばれています。そこで今日はサーモンピンクの鮭のネクタイをしてきました。現在大学3年になる末の娘が小学生の頃に、よく神子田の朝市に連れて行くと「可愛いお孫さんね」とか「おじいちゃんと一緒にいいね」と言われていました。マクラはここまでです。昨年結婚した長男夫婦に一昨日男児が生まれました。初孫の誕生でやっと風貌に似合った本物のおじいちゃんになりました。今までもずっと孫自慢を聞かされた同い年の藤村文昭君にやっとりベンジできます。3,022グラムのまさしくサーモンピンクの元気な赤ちゃんが無事に生んでくれた嫁に感謝してニコニコします。
- ◆田中宏暁君…イベントのご案内をさせていただきます。NHKが中心となって開発している8K(はちけー)スーパーハイビジョンの試験放送が8月1日から行われて

います。先のリオデジャネイロオリンピックでは、開会式や競泳などを放送しまして、JR盛岡駅での受信公開をご覧いただいた方もいらっしゃいます。ありがとうございました。きょうは、お手元にちらしを配らせていただきましたが、13日の日曜日からは「大相撲11月場所」の中入り後の取り組みをはじめ、8Kスーパーハイビジョンで中継放送します。上田のNHK盛岡放送局で13日から27日の期間中、土・日も含めて午後4時から6時まで、スーパーハイビジョンで大相撲をご覧いただけます。通常のテレビの16倍のきめ細かさの超高精細(ちょうこうせいさい)映像と、「22.2チャンネル」の音響で、圧倒的な臨場感をお楽しみいただき、一緒にニコニコさせていただければ幸いです。

### ●メークアップ

竹田(大分)=勝部君。地区=吉江君。盛岡北R.C.=岩野君。盛岡西R.C.=作田・栗田君。盛岡東R.C.=伴・佐藤(仁)君。クラブ委員会=橋本・星・工藤(幸)・長野・白石・吉田(育)君。

出席報告 会員数 / 74 名 出席数 / 46 名 出席率 / 65.71% 前々回 / 78.08%

プログラムの  
お知らせ ・ 11 月 18 日(金) 新入会員卓話 大内 敦 会員  
「お客さま・地域の皆さまと共に」

●本号編集担当 / 岡本 晃吉

●次号編集担当 / 橋本 孝史